

アプリアックス「ドコモ・アライアンスパートナー契約」を締結

2011年10月11日

株式会社アプリアックス(本社:東京都新宿区、代表取締役:鈴木智也、以下「アプリアックス」)は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:山田隆持、以下「ドコモ」)と、ドコモ・アライアンスパートナー契約を締結しました。この締結により、M2M やスマートグリッド等の新たなモバイルソリューション関連の市場拡大及び未導入分野・業種・企業への導入促進を図るべく相互に協力し、今後飛躍的な発展が見込まれる国内市場においてもアプリアックスが既に海外で提供し始めている M2M やスマートグリッド関連の製品を販売していきます。

これまで、アプリアックスは全世界で広く出荷実績を誇る「JBlend™」で培ったノウハウを活かし、M2M やスマートグリッドに対応した製品を北米や中国の大手電力関連半導体メーカー・大手通信事業者・通信モジュールのグローバルメーカーに既に出荷しています。

今回このアライアンス締結を受け、海外での成功事例を NTT ドコモと共有しながら、アプリアックスはドコモの優れた通信インフラを活用したモバイルソリューションを開発・発展させ、これから大幅な市場の広がりが期待される国内の M2M やスマートグリッド向けの展開を進めてまいります。さらに国内での利用実績を重ね、サービス・技術両面にわたる IT 産業の国際競争力の向上にも貢献してまいります。

以上

M2M とは？:

Machine To Machine の略で、人を介さずに機器同士がインターネット等通信で情報を交換し合う技術の総称です。日本国内では震災後のエネルギー使用への関心の高まりを受け、スマートシティやスマートグリッドを実現する基盤技術として注目を集めています。

■株式会社アプリアックスについて

世界中の人々に、より充実した毎日を楽しめるようなソフトウェアテクノロジーを提供する事がアプリアックスのミッションです。

アプリアックスは、民生用電子機器の組み込みソフトウェア開発の先駆者として、携帯電話や AV 機器などを飛躍的に進化させるソフトウェア技術を世界中の機器メーカーに提供してまいりました。アプリケーション実行環境「JBlend™」や、コミュニケーションコア「emblend™」を始めとしたアプリアックスのソフトウェアを搭載した携帯電話や AV 機器は、世界各国の市場に既に6億台以上出荷されており、さらに毎年1億台以上のペースで増え続けています。さらに、「nanoJBlend」、「picoJBlend」、「WirelessIDEA」を始めとするスマートグリッド・M2M 向け製品が、米国や中国の大手電力関連半導体メーカー・大手通信事業者・通信モジュールのグローバルメーカーに採用されております。

また、アプリアックスは、その持株会社であるガイアホールディングス株式会社のグループの一員として、同じくグループを構成する、コンテンツ及びサービスを保有・開発する株式会社ジー・モードと株式会社アニメインターナショナルカンパニー、および海外での開発・営業拠点 iaSolution Inc.(台湾台北)と連携し、

最新のソフトウェアとコンテンツ・サービスを組み合わせることで提供することにより革新的な次世代のサービスを世界中の人々に届けるよう取組んでおります。

2011年に旧アプリックス(現ガイアホールディングス株式会社)からの新設分割により設立
本社所在地:東京/拠点:那覇

■このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社アプリックス IR 担当

03-5286-8436

※JBlend、emblend ならびに、JBlend に関連する商標及びロゴは、日本およびその他の国におけるアプリックス又は関連会社の商標又は登録商標です。
※その他の社名、製品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。